

新年度で五十キロを舗装

私道助成を一部緩和

市民の行政需要は、広範囲で放散にも多く、つており、なかでも道路舗装、下水道整備などに集中しています。

市では、新年度も市民生活優先を基調とし、生活環境の整備を重点施策の一つとして、そして、できるだけこれの都市基盤の整備を不況対策と連動させていきます。

九月末に通水予定で、十月からは能力アップされるため、合わせて船見処理区の水洗化の促進を図ります。

船見処理場 十月から能力アップ

現在、昭和五十五年に一部稼働を目指して、中部下上げ、件数も八十件から百水処理場の建設を進めて、二十件に、水洗化に伴う私道等排水設備助成金は三分の一の補助率を、一分の二にしました。また、新規事業として、小規模(背割)排水路の改良助成を行いますが、これは、たが住宅地に排水路が残る、土が崩れ機械化しなくなるなど、部分年度であり電気、機械、場内配管などの整備を行い、内配管などの整備を行い、を図り対処します。

児童公園新設 管理体制も強化

公園整備では、児童公園として、石山第四公園、物見山第三公園、物見山第四公園、あお公園、新崎公園の五か所を新設すると、小公園二十か所、借地公園五か所を新設します。緑地の整備としては、山



船見処理場の最初沈殿池

融資制度の枠を拡大

独自の野菜価格安定対策

中小企業 農林水産

育成指導を

中小企業の経営環境は、不況が長期化する傾向にある中で、きわめて深刻な状態に陥っています。

中小企業対策としては、金融対策がその中心となり、市は、そのため、融資制度の枠を拡大し、一部貸し付け限度額の引き上げ

舗装率 四十三パーセント

道路関係では、道路改良事業として、平島、出来島線などの用地買収や、女海、延長約三キロの改良工事、用地買収、物件補償を行い

市民から要望の多い道路舗装は、延長約五〇キロを市単独で行います。舗装率は昭和五十二年年度末、四三・四四(市道延長比)と

人口魚礁の設置

水産業については、二百一十の建設、さらに西海

水産業については、二百一十の建設、さらに西海

水産業については、二百一十の建設、さらに西海



西海岸公園の展望台

都市基盤の整備 駅南開発・流通センターなど

機能的な秩序あるまちづくりのための基盤整備とし、駅南地区の開発、流通

計画調査、さらに西海

計画調査、さらに西海

計画調査、さらに西海

計画調査、さらに西海

水道

千草総額は約五十九億七千円で、今年度比六

千草総額は約五十九億七千円で、今年度比六

清掃施設整備に 五億円

昨年八月から全市内が分別収集となり、特別

昨年八月から全市内が分別収集となり、特別

昨年八月から全市内が分別収集となり、特別

昨年八月から全市内が分別収集となり、特別

昨年八月から全市内が分別収集となり、特別

昨年八月から全市内が分別収集となり、特別

昨年八月から全市内が分別収集となり、特別

昨年八月から全市内が分別収集となり、特別